

水難救難所員が訓練の成果を発揮

6月6日に佐呂間水難救難所訓練大会が富武士漁港で開催されました。

本大会は海難事故が発生した際、迅速で安全的確な救助活動を行うための訓練として毎年実施されています。

訓練では、ゴムボート操法やマネキンを使用しての心肺蘇生法などが行われ、日頃の訓練の成果により息のあった動きを披露してくれました。



若小児童と佐高生が植樹

6月11日に若小全児童と佐呂間高校1年生が若佐小学校の校舎裏で植樹を行いました。この植樹事業は、身近な自然に関心を持ち、郷土愛を育もうとする木育の一環として実施されました。

参加した生徒は「自分が植えた木が大きく育った姿を見るのが楽しみ」「サロマ湖の環境が守られることを願って植えた」などと話し、貴重な時間を過ごしました。

はまなすクラブが除草作業を実施

6月12日に浜佐呂間はまなすクラブのボランティア活動により、浜佐呂間活性化センターの花壇の除草作業が行われました。枯れ枝や雑草を除去していただき、2時間ほどで花壇は綺麗になりました。

浜佐呂間はまなすクラブのみなさま、寒い中ありがとうございました。



第40回佐呂間町ホルスタイン共進会

6月17日に佐呂間町ホルスタイン共進会が開催され、乳用牛37頭が出陳されました。各農場が自慢の牛を出陳し日頃の飼養管理の成果を競いました。

牛の年齢別に部門分けされており、審査では体型・骨格の美しさ、乳房の張り具合、乳房の位置などを審査員が一头ずつ細かくチェックします。会場を訪れた方による予想投票も行われ、見事順位を当てた方には景品が用意されており大いに賑わいました。



福祉事業に篤志寄付

この度、本町西富に在住され6月4日に亡くなられた故佐野孝一氏の生前の意思により、「福祉事業に役立てて下さい」と100万円の篤志寄付がありました。

6月15日、西富のご自宅において、町長から奥様のますゑさんに感謝状が贈呈されました。

本町の福祉事業の充実のため有効活用させていただきます。

誠にありがとうございました。



植樹祭を開催～旧牧野を森林に～

(株)ニトリの北海道応援基金の助成を受け、佐呂間町植樹祭が5月31日に開催されました。

昨年度に引き続き旧富丘牧野を会場とし、関係者やボランティア97名が参加し、ミズナラ・エゾヤマザクラの他にニトリザクラが植樹されました。

6月2日には佐呂間漁協による植樹祭も行われ、旧富武士第2牧野にカシワ・イタヤカエデ・エゾヤマザクラが組合員らによって植樹されました。

沿道が色鮮やかな花で彩られる

5月27日、網走建設管理部の協力を得て、佐呂間町商工会の『道々留辺蘂浜佐呂間線環境美化事業』による、佐呂間市街地区と若佐市街地区の植樹帯の花植えが行われました。

佐呂間市街地区の植樹帯の花植えには、佐呂間自治会のボランティアの方々、JA佐呂間、遠軽信用金庫佐呂間支店の職員らが、若佐市街地区の植樹帯の花植えには、若佐、中園川西自治会のボランティアの方々が参加し、それぞれ沿道の植樹帯にサルビアとマリーゴールドを植えました。

この事業は、町に訪れる方々へおもてなしの気持ちを込めて毎年実施されており、今年も参加された皆様のおかげで、赤や黄色に彩られた素敵な沿道となりました。

6月8日には、網走開発建設部の協力を得て、栄自治会と高橋土建(株)のボランティアの方々が、国道333号線(栄地区)の植樹帯の花植えを行いました。

この活動は栄自治会・佐呂間町・開発局との三者間協定により毎年実施されています。参加された皆様のおかげで、サルビアやマリーゴールドで彩られた素敵な沿道で佐呂間町を訪れる方々をお出迎えすることができます。

